

日本共産党のえんど久子市議 12月市議会で質問

観光のため市の役割を發揮すべき

昨年12月の市議会一般質問でえんど久子市議は、別府市の観光浮揚のため市の役割をしっかりと發揮するよう求めました。

しっかりと役割分担をして

えんど久子市議は「別府市の観光まちづくり課は、大変忙しうだが、イベントや祭りなどの現場対応に追われ本来の仕事ができていないのではないか。私たちのアンケートに『別府は行政の仕事と観光協会の仕事の分担が逆ではないか』という声が寄せられた。関係団体との役割分担をしっかりと行ない、行政は観光政策の企画立案に知恵を出し合い誘致に力を入れられるようにすべき」と、指摘しました。



別府に入港した大型客船レジェンド号
2011. 8. 8. 撮影

観光まちづくり課長は、「新規事業を含め観光に関わる事業については、外注できるものは外注するなど、思い切った方針を前提に、観光まちづくり課が企画立案部門を担い、関係団体のみな様にいつそうのご協力・ご尽力をお願いして、効率的・

市は企画に力を入れたい

効果的な事業推進に取り組んでいきたい」と答弁しました。
みんなで知恵を出しあい、力をあわせて別府観光を盛り上げたいものです。



別府の中心商店街で。レジェンド号の乗客と浴衣姿で出迎えた留学生たち。

2011. 9. 6. 撮影

えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

日本共産党 別府市議団

げんきニュース

TEL・FAX 平野文活21-6749・えんど久子25-7630

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.498

2012. 2. 1.

<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>

12月市議会 えんど久子議員が質問

障がい者の差別をなくすための条例を

別府市では、障がい者の差別をなくすための条例づくりの運動が盛りあがり「障がいのある人もない人も安心して安全に暮らせる別府市条例（仮称）」を制定するための準備がすすんでいます。えんど久子市議は、12月市議会で条例制定に向けた取り組みについて質問しました。

全国的にも少ない条例制定

この条例制定は全国的にもまだ少なく、市ではさいたま市のみです。えんど市議は10月に先進地千葉県に視察に行ったことに触れながらこれまでの経過を質問。

障害者福祉課長は「H23年8月9月に障がい者の差別・偏見に関する意見公募を行ない、

11月に別府市障害者自立支援協議会へ条例の骨格策定について諮問を行った」と説明しました。



千葉駅前の障害者タクシー乗り場

2011. 10. 21. 撮影

ゴミのふれあい収集を

えんど久子市議は、ゴミ出しが大変な高齢者や障がい者のためのふれあい収集について、これまでも求めてきました。

12月市議会で、えんど市議の質問に生活環境部長は「ふれあい収集については要望が寄せられており、今後ニーズもさらに高まるものと考えている。ゴミ出しに苦慮されているみなさんのご自宅まで伺うこととなるので、安心感という観点から市の直営事業で担うべき事業だと位置づけている。福祉部署との連携を図り、対象世帯の範囲や人員・ゴミ収集車などの課題を整理し、取り組んでいきたい」と答弁しました。

全国的にも少ない条例制定

えんど市議は「実効性のあるものにするためには予算の確保が大事だと思いが」と部長の見解を求めました。

福祉保健部長は「障がい者への差別・偏見・疎

外などの問題解決には予算の確保や関係課との協議が重要である。心の配慮により合理的配慮の欠如が補える部分もあり、重要な課題だと考えている」と答弁しました。